

提案名称

モトマチ コネクト
MOTOMACHI CONNECT ~ 基町エリアのイメージをリードし、わたしたちの気分を一段上げる新拠点 ~

提案番号

概算事業費

612,440 千円

※計画内容は現時点のものであり、図面やパースなどは今後変更の可能性がございます。また、入札などで不調となった場合には計画の見直しや大幅なVECDを行います。

提案概要
 広島県の中核、重要拠点、広島県庁。その周辺で働き、遊びに来る大人たち
 仕事と生活の日常をアップデートし、広島を誇り、たしなむための、新たな拠点
 県民に開かれた周囲の街にもにぎわいをもたらすピースとなる
 ところがはずむ MOTOMACHI CONNECT

提案番号 提案名称 MOTOMACHI CONNECT ~ 基町エリアのイメージをリードし、わたしたちの気分を一段上げる新拠点 ~

事業コンセプト/事業の目的に対する魅力的なコンセプトの提案



本計画地の分析

楕円型の都心の一つの核	業務・商業の大型施設が集積	県内外からの多様な来街者の交通結節点
公園・文化施設などが至近	今後の開発、リニューアルを契機に新たなイメージが定着するポテンシャル有	

事業コンセプト

モトマチコネクト
MOTOMACHI CONNECT
~ 基町エリアのイメージをリードし、わたしたちの気分を一段上げる新拠点 ~

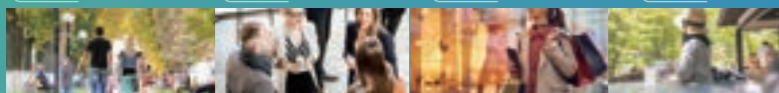
生み出す効果

基町エリアのイメージの形成

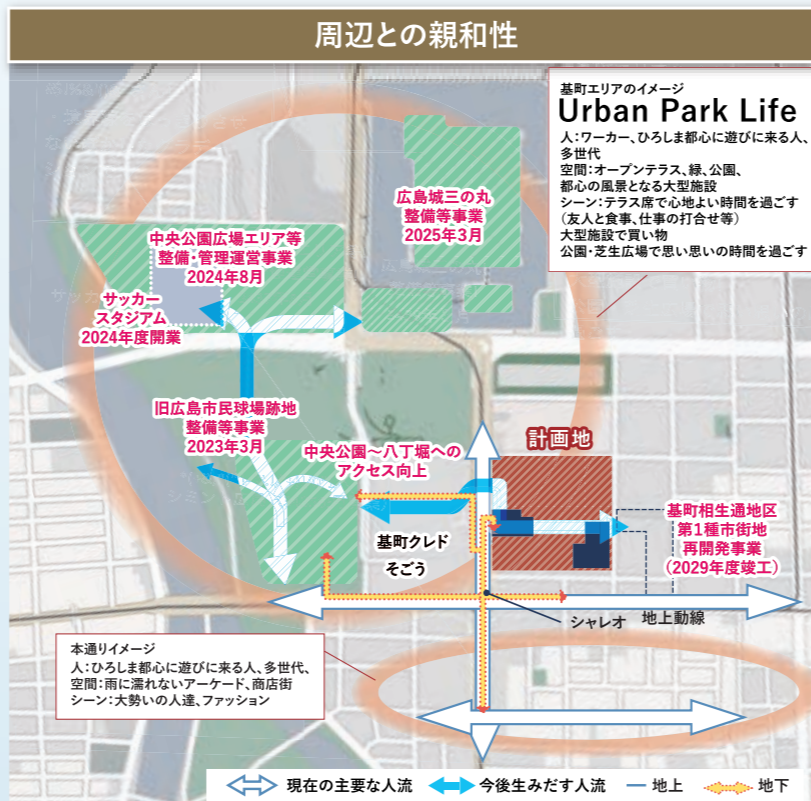
Urban Park Life

多世代/緑・公園・テラス/コト消費

まちとまちを CONNECT
利用者の気持ちに CONNECT
県と県民をCONNECT
SDGsに CONNECT



- 【WHO/誰に?】 県庁及び周辺のワーカー・都心への来訪者
- 【WHAT/何を?】 お腹と心を満たす高感度な飲食・デリリーニースを満たす物販・県庁の森、芝生、県庁建物と調和する建物
- 【HOW/どのように?】 周辺施設やエリアマネジメント団体と連携したにぎわい作り・県庁の森と一体的なイベント活用及び発信



Work



県庁敷地だけでなく「基町エリア」全体として「Urban Park Life」イメージを形成し、当エリアに”目的性”や”行ってみたい動機”を作る計画とします。

Life



ピロティやテラス空間を多く有した計画建物で滞留しやすくし、地下道や横断歩道からアクセスしやすい位置に4つの通りを新設し回遊を高めます。



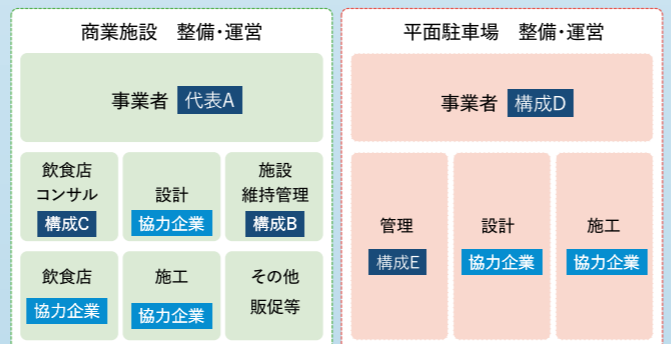
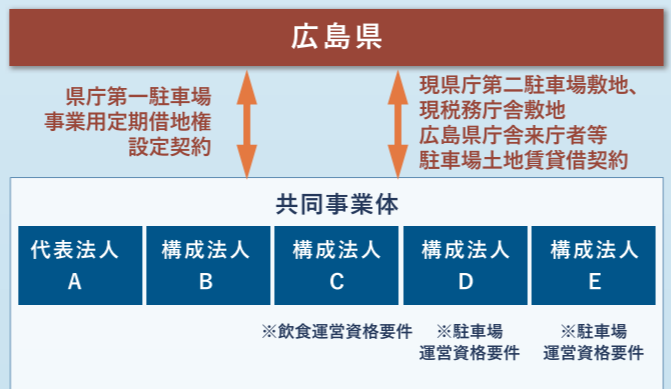
周囲の開発動向を踏まえ、ターゲットや提供価値を明確に棲み分けることに加えて、周辺施設・イベントの情報を施設内やHP等で発信し、回遊を生み出します。



複数のエリアマネジメント団体と連携し、イルミネーション、クイズラリーやスタンプラリーなどのイベントを実施し回遊性を高めます。

事業の実現性・継続性

広島で長きに渡りにぎわいづくりをしてきた企業と、全国区企業によるベストミックスで安定した事業推進体制を構築



年度	月	2023年度 (令和5年度)			2024年度 (令和6年度)			2025年度 (令和7年度)			2026年度 (令和8年度)			2027年度 (令和9年度)			2028年度 (令和10年度)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
県庁第一駐車場敷地 <商業施設および芝生広場>	調査																		
	設計																		
	工事																		
県庁第二駐車場敷地 <平面駐車場エリア>	調査																		
	設計																		
	工事																		
税務庁舎敷地 <平面駐車場エリア>	調査																		
	設計																		
	工事																		

- 事業運営予定者の決定後、広島市と協議および申請等が必要な埋蔵文化財調査については、できるだけ速やかに申請手続きや事前準備等の協力を行うこととします。
- 省エネ適合判定のプロセスを考慮し、建物竣工後に来店者による工事を計画することで、全体建物の設計変更による遅延が生じないよう工夫します。
- 設計、リーシング、運営管理などの分科会を設定し、必要に応じて外部視点を取り入れるため協力法人を招き入れながら、事業を推進します。
- 提案内容の調整・協議が必要となった場合、全体の条件・協議方針を早急に整理した上で、具体的検討のための各種スケジュールを作成します。また、貴県からの追加の要求に対し柔軟に対応する体制を整えます。

※計画内容は現時点のものであり、図面やパースなどは今後変更の可能性がございます。また、入札などで不調となった場合には計画の見直しや大幅なVECDを行います。

貸付エリアの企画提案

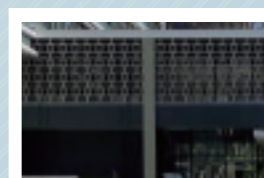
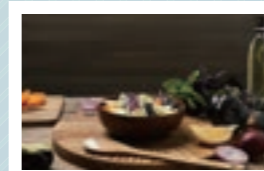
県民の誰もが知るこの場所に、大切な誰かを誘いたくなる場所を

第一駐車場敷地の商業施設・芝生広場



4つの通りにより回遊性を高めます

- 1 もとはち こみち
基町～八丁堀エリアをつなぐ
- 2 ひろしま こみち
芝生広場～県庁の森をつなぐ
- 3 芝生広場 こみち
横断歩道～ひろしま こみちをつなぐ
- 4 テラス こみち
鯉城通り歩道～店舗をつなぐ



デザインの特徴

- ・4つの通りと屋内外の賑わいスペースをつなぎ、街の回遊性や滞留性を高める
- ・分棟低層状の構成により、広場や公園、県庁建物と調和したヒューマンスケールな建物ボリューム
- ・県庁舎の外装モチーフを一部取り入れ、外観デザインの連続性に配慮



県庁利用者に加えて、都心にアクセスする人たちにとって使いやすい多機能を有したチケットレス駐車場

第二駐車場敷地、税務庁舎敷地の平面駐車場



•将来を見越して、シェアサイクル、電動キックボードのシェアリングステーション用地を確保します。



•車いす使用者等用駐車区画以外にも「プラスワン駐車区画」を用意します。



•平日昼間は、公用車として県庁職員が利用し、夜間・土日は、一般者に貸出しができる脱炭素型(EV)カーシェアリングの導入を提案します。



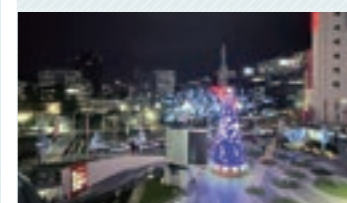
貸付以外のエリアの企画提案

様々なシーンを紡ぐ東西動線「もとはち こみち」の整備



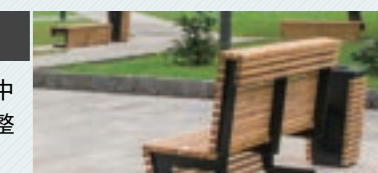
県庁の森

周辺施設と連携し、数年かけて徐々にイルミネーションを拡大するなど動きかけを行います



県庁の中庭

県庁職員のための交流・集中ゾーンとして、デッキベンチの整備を提案します。



南館前駐車場

キッチンカーの誘致と、イベント分電盤整備を提案します。



代替駐車場の提案

県庁へアクセスしやすい近隣での代替駐車場を提供

